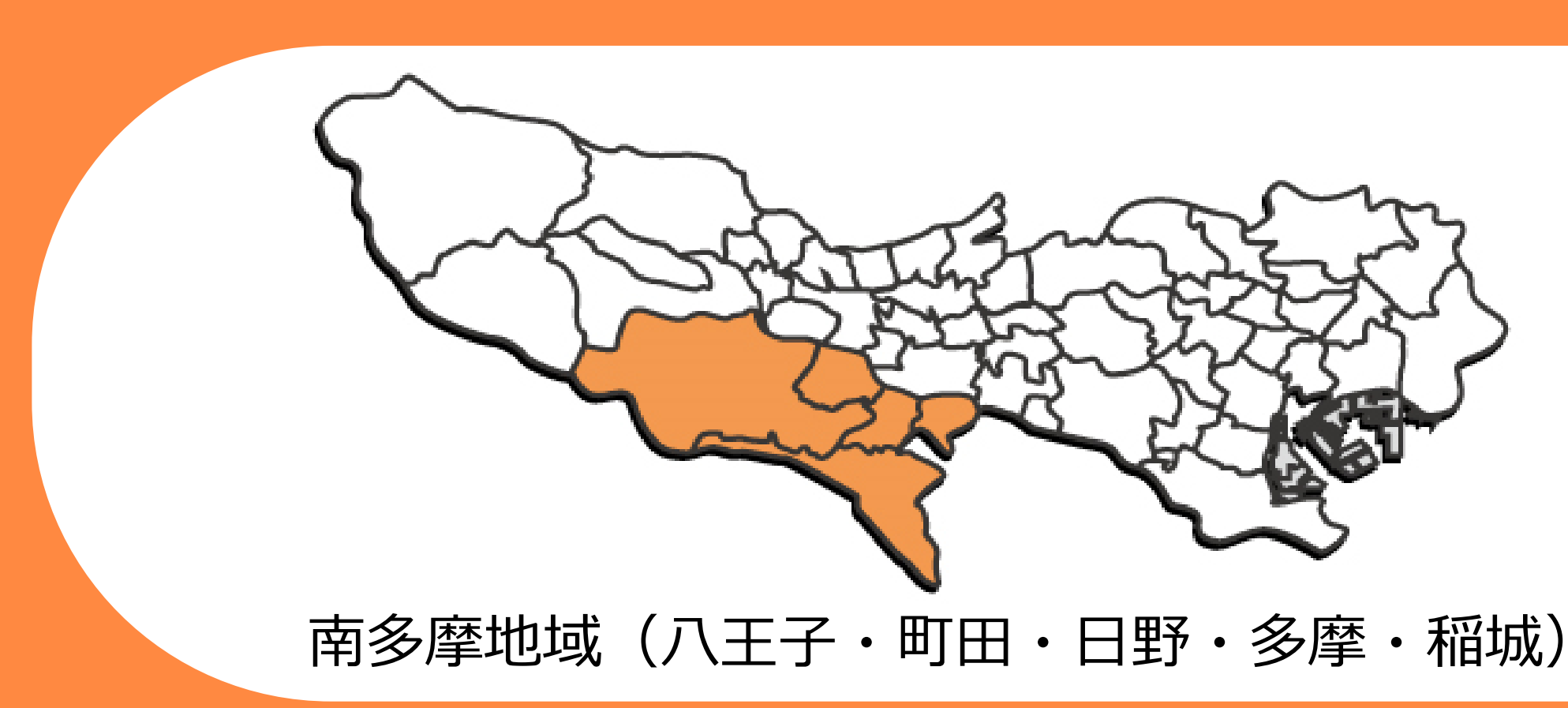


南多摩高次脳機能障害支援センター

Tokyo South-Tama Community Based Higher Brain Dysfunctions Center

令和元年度（2019年度）実績報告



南多摩地域（八王子・町田・日野・多摩・稲城）

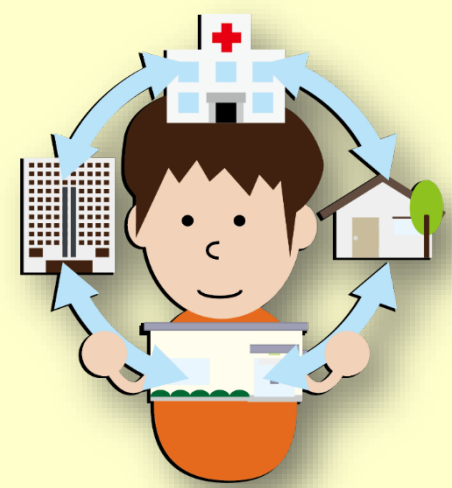
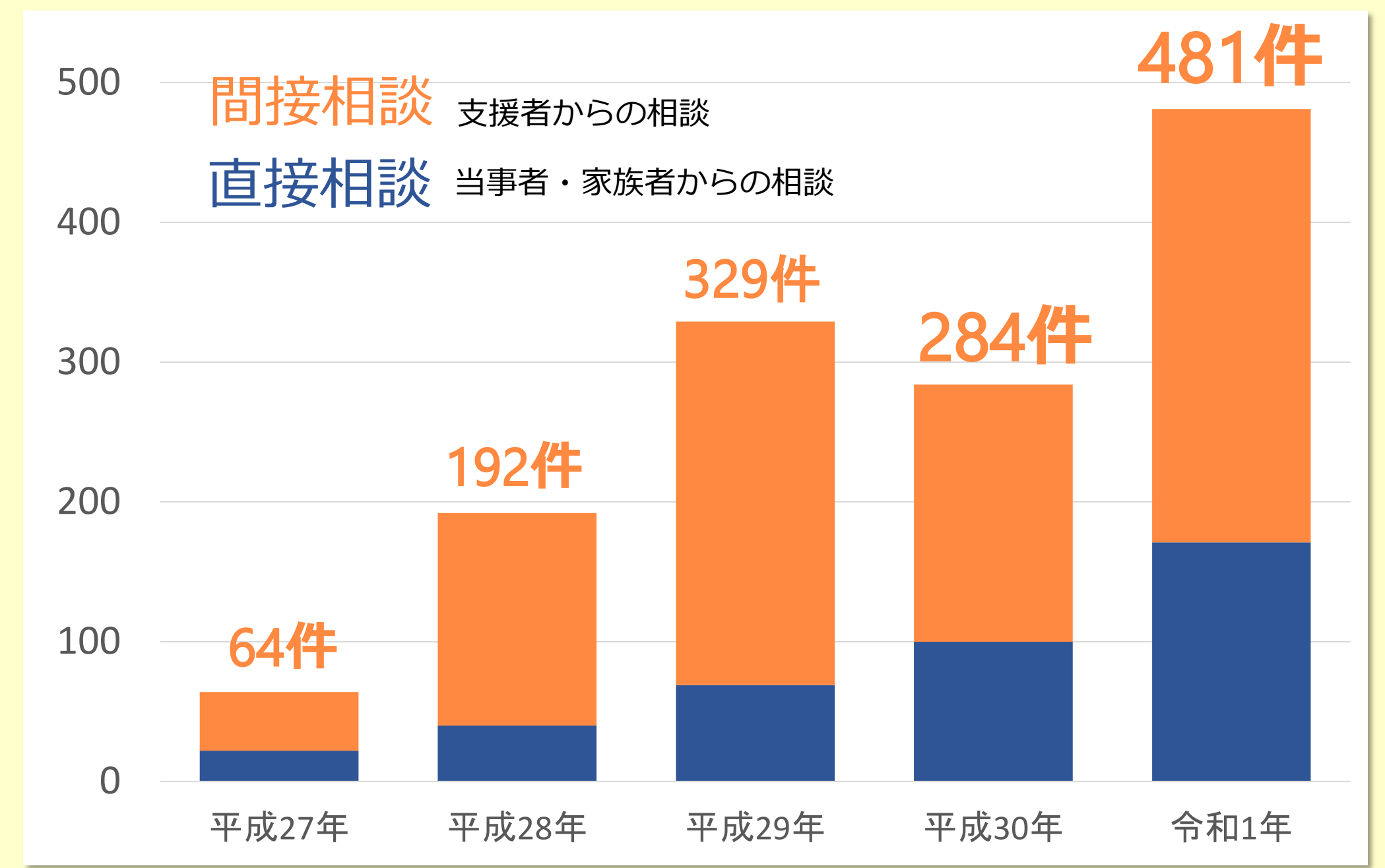
永生会では平成25年度より東京都高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実」事業を受託し、活動している。本事業の目的は「高次脳機能障害者のリハビリテーションの質の向上と関係機関等の連携を進め、地域で高次脳機能障害の特性に対応した切れ目のないリハビリを提供できる体制の充実に資する」ことである。今回は令和元年度の取り組みについて報告する。



相談事業

総相談件数481件（間接相談310件）と前年度に比し大幅に増加

電話、面談による相談支援を実施。
主な相談機関は相談支援事業所、医療機関、居宅介護支援事業所、就労移行支援事業所であり、全体の6割を占めた。
相談内容は社会的行動障害を伴う困難ケース、介護保険対象だがサービスが適さないケース、自動車運転支援の希望等多岐に渡っていた。



連絡会

◆協力施設連絡会（全10回 場所：天本病院）

参加施設：北原国際病院、永生病院（八王子）、多摩丘陵病院、ひかり療育園（町田）、マルシェいなぎ（稲城）、天本病院、多摩市社会福祉協議会（多摩）、日野市高次脳機能障害者支援センター・つくし（日野）

◆症例検討会（協力施設連絡会と同時開催）

頻度：月1回開催 計9回 場所：天本病院

◆南多摩圏域連絡会

日付：令和元年6月7日（金） 参加者：32名



家族会

◆はちおうじ高次脳機能障害者家族会「はっちゃん」運営支援



定例会：4回（特別講演会含む）
講師：上田敏氏＜特別講演＞
今井雅子氏＜高次脳機能障害と家族＞
保科和央氏＜次のステージに進むために＞
グループワーク：日々の困りごとから八王子市への要望へ

◆第3回NoProblem（脳損傷）in 南多摩 企画・運営



参加者：161名（当事者48名）
プログラム：基調講演 鈴木大介氏（「脳が壊れた」著者）、
当事者講演、作品展示、舞台発表、
障害者スポーツ体験・活動紹介



その他の事業

1 ドライビングシミュレーターの導入 NEW



自動車運転に関する相談が増加。運転支援の取り組みの一環として、ドライビングシミュレーターを導入しました。パイロットスタディとして、4例に評価を実施しました。



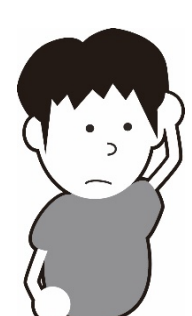
2 高次脳機能障害支援施設マップ発刊

南多摩5市の高次脳機能障害支援施設の情報集約を目的に、行政・福祉施設・病院を掲載。南多摩5市の関係機関へ配布しました。
掲載施設数：83施設

3 公開症例検討会『プロフェッショナルの見立て』

症例の支援者チームと講師チームに分かれ、シンポジウム形式で症例検討を行いました。
日付：令和2年2月16日（日）
講師：山口加代子氏（中央大学文学部 臨床心理士）
瀧澤学氏（神奈川県リハビリテーション支援センター 社会福祉士）
参加者：73名

相談件数は、昨年度（平成30年度）の284件に比べ増加した。医療機関や相談支援事業所、居宅介護支援事業所等から相談が寄せられ、高次脳機能障害に関する専門相談が必要とされる状況にある。今後当センターでは、困難事例の相談対応、自動車運転に関する支援者向け研修会の企画、5市合同での当事者・家族交流イベントの企画に力を入れて取り組みたい。



南多摩高次脳機能障害支援センター

<http://www.m-koujino.com/>

〒193-0942 東京都八王子市町田町583-15 医療法人社団永生会 高次脳機能障害支援事業推進室 tel:042-666-5882 fax:042-666-5881 mail:info@m-koujino.com